

次期鈴鹿市総合計画策定 にかかる基礎調査 都市間比較

令和4年12月17日

三十三総研

1. 調査概要と比較対象都市

(1) 調査概要・目的

- 県内において都市規模等の特性の近い都市や、愛知県、岐阜県、さらには全国で本市と特性の類似した都市について項目間で比較を行う。
- 本市の強みや優位性、また今後高めていくべき分野を相対的に把握する。

(2) 比較対象都市の概要

都道府県	都市	都市区分	人口 (人)	昼夜間人口比率 (%)	製造品出荷額等 (億円)
三重県	四日市市	施行時特例市	305,424	103.6	27,570
	津市	Ⅳ-3	274,537	103.2	8,236
	松阪市	Ⅳ-2	159,145	95.2	4,061
	桑名市	Ⅲ-2	138,613	92.5	4,060
愛知県	安城市	Ⅳ-2	187,990	104.6	25,196
	小牧市	Ⅳ-2	148,831	117.7	14,574
岐阜県	大垣市	Ⅳ-2	158,286	103.4	5,446
静岡県	磐田市	Ⅳ-2	166,672	103.0	14,920
茨城県	日立市	Ⅳ-2	174,508	107.4	10,420
鈴鹿市		Ⅳ-2	195,670	94.7	13,430

2. 比較項目①

- 都市における「安心度」,「快適性」,「利便性」,「成長力」,「富裕度」の5つのカテゴリーを軸に,それぞれ以下に示す指標を比較項目とした。

比較項目一覧表①

	項目名	機関名	調査名	年次
都市の安心度	交通事故発生件数(1万人当たり)	公益財団法人 交通事故総合分析センター	「交通事故統計年報」	2018年
	一般診療所及び歯科診療所数(1万人当たり)	厚生労働省	「医療施設調査」	2020年
	介護老人福祉施設定員数(1万人当たり)	厚生労働省	「介護サービス施設・事業所調査」	2020年
	介護老人保健施設定員数(1万人当たり)	厚生労働省	「介護サービス施設・事業所調査」	2020年
	保育所入所待機児童数	厚生労働省	「保育所等関連状況取りまとめ」	2020年
都市の快適性	都市公園面積<市立>(1万人当たり)	総務省	「公共施設状況調」	2020年度
	污水处理人口普及率	国土交通省	「下水道処理人口普及率一覧」	2020年度
	都市計画道路改良済延長距離(1万人当たり)	国土交通省	「都市計画現況調査」	2021年
	一住宅当たり延床面積	総務省	「住宅・土地統計調査」	2018年
	1日当たりのごみ排出量(1人当たり)	環境省	「一般廃棄物処理実態調査」	2020年度

2. 比較項目②

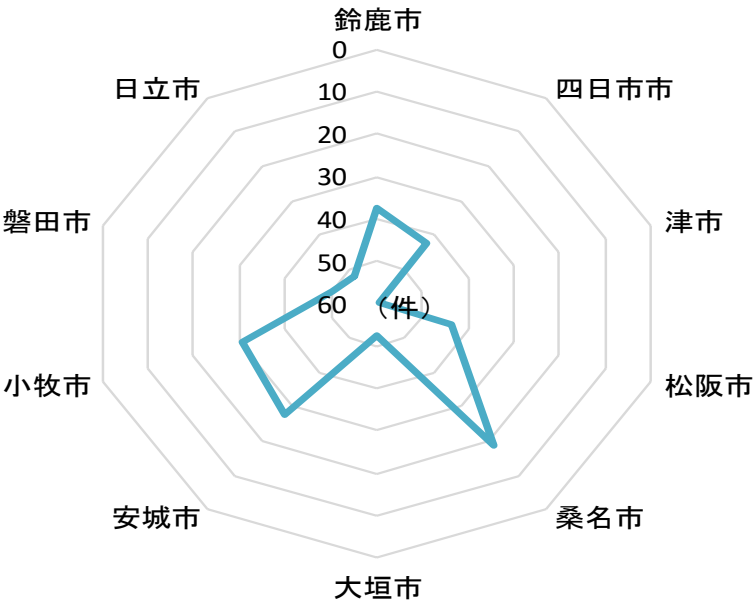
比較項目一覧表②

	項目名	機関名	調査名	年次
都市の利便性	小売店売場面積(1万人当たり)	総務省	「経済センサス-活動調査」	2016年
	大規模小売店売場面積(1万人当たり)	東洋経済新報社	「全国大型小売店総覧」	2021年
	飲食店数(1万人当たり)	総務省	「経済センサス-活動調査」	2016年
	小学校数(1万人当たり)	文部科学省	「学校基本調査」	2021年度
	中学校数(1万人当たり)	文部科学省	「学校基本調査」	2021年度
	高校数(1万人当たり)	文部科学省	「学校基本調査」	2021年度
都市の成長力	従業者数(1万人当たり)	総務省	「経済センサス-活動調査」	2021年
	製造品出荷額等(従業者1人当たり)	経済産業省	「工業統計調査」	2019年
	小売業年間販売額(1万人当たり)	総務省	「経済センサス-活動調査」	2016年
	農業産出額(1万人当たり)	農林水産省	「市町村別農業産出額」	2020年
	昼夜間人口比率	総務省	「国勢調査」	2015年
都市の富裕度	財政力指数	総務省	「市町村別決算状況調」	2020年度
	地方債残高(1万人当たり)	総務省	「市町村別決算状況調」	2020年度
	課税対象所得額(1万人当たり)	総務省	「市町村税課税状況等の調」	2021年

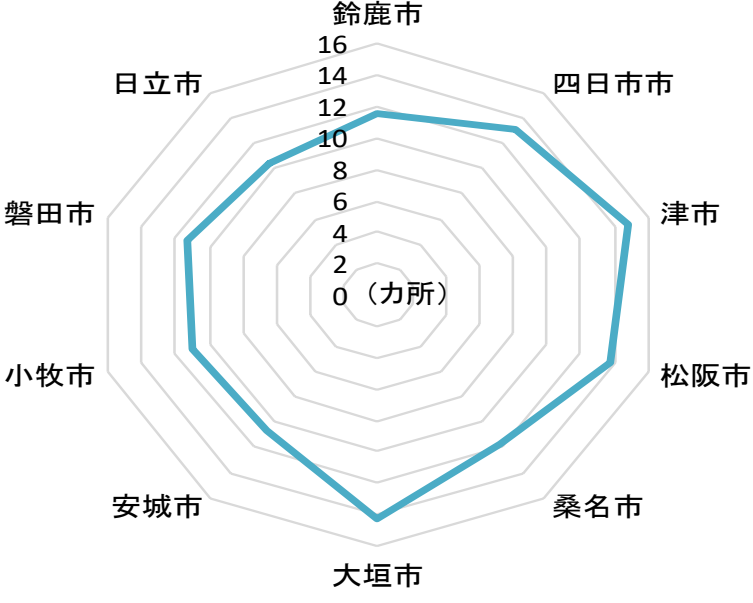
3. 各項目別の比較結果

(1) 都市の安心度

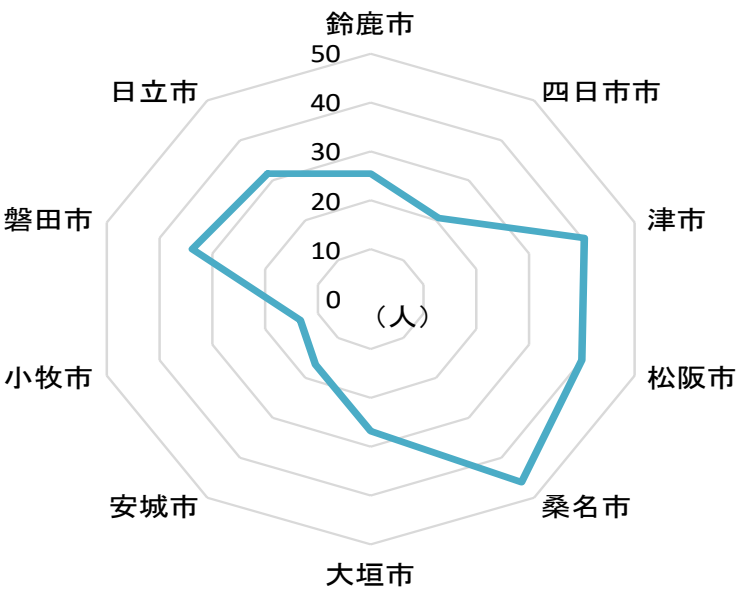
交通事故件数
(人口1万人当たり)



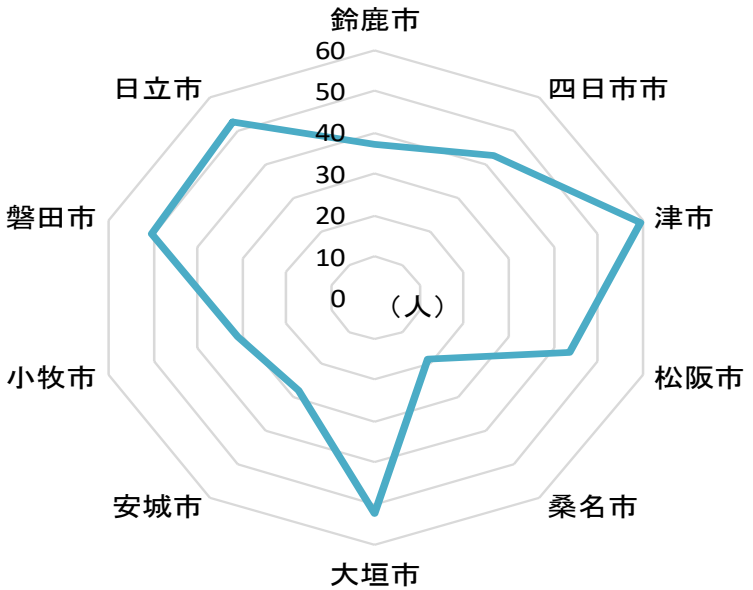
一般診療所・歯科診療所数
(人口1万人当たり)



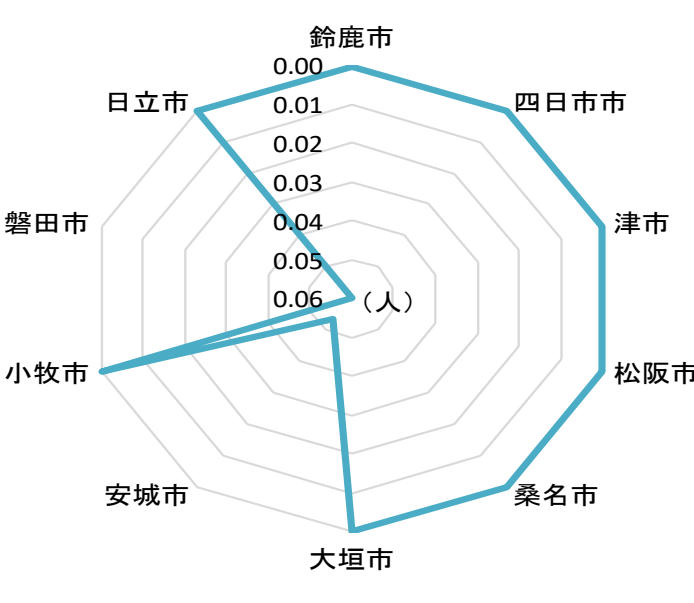
介護老人保健施設定員数
(人口1万人当たり)



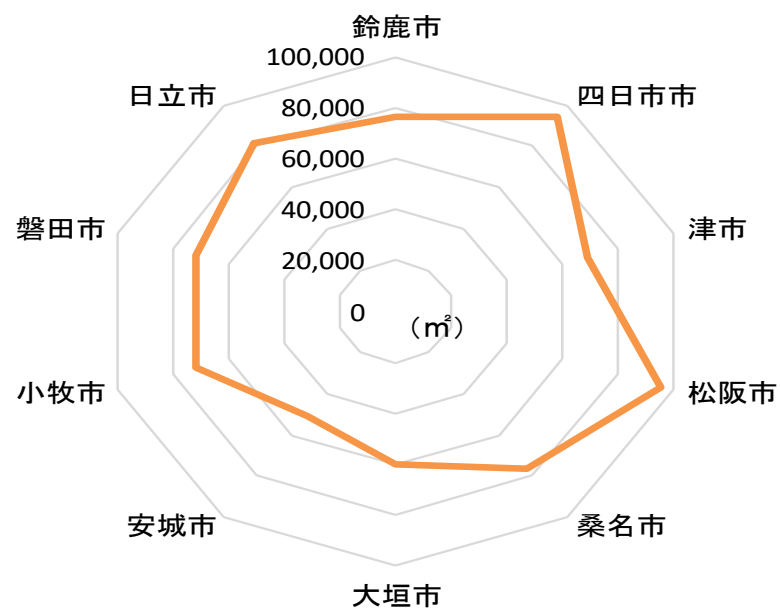
介護老人福祉施設定員数
(人口1万人当たり)



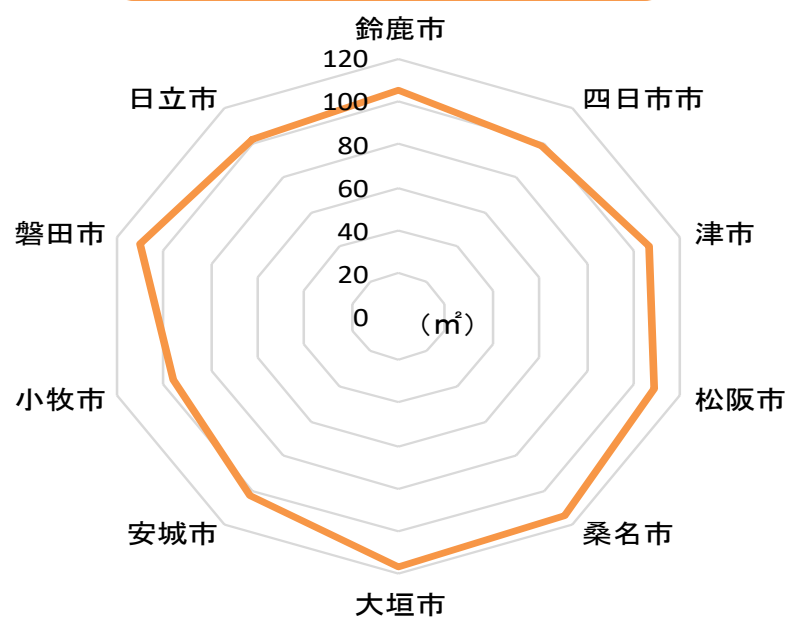
保育所入所待機児童数
(人口1万人当たり)



都市公園面積
(人口1万人当たり)

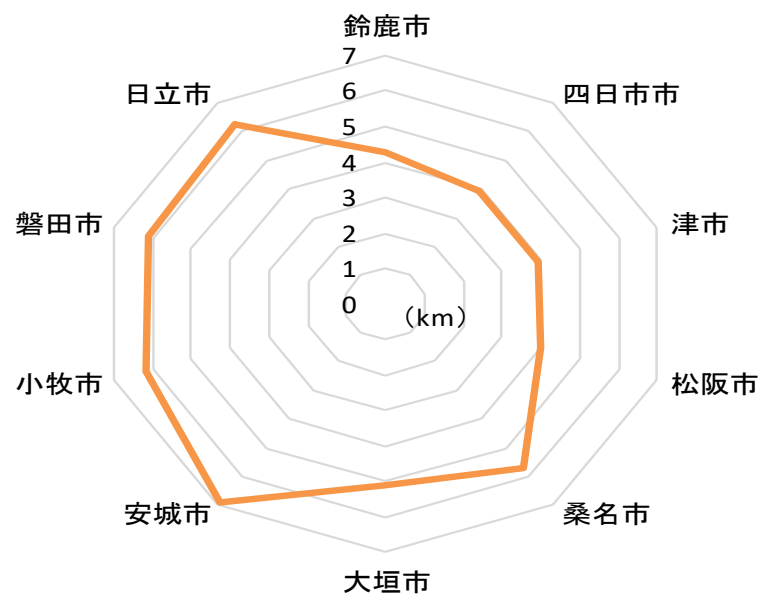


住宅延床面積
(1住宅当たり)

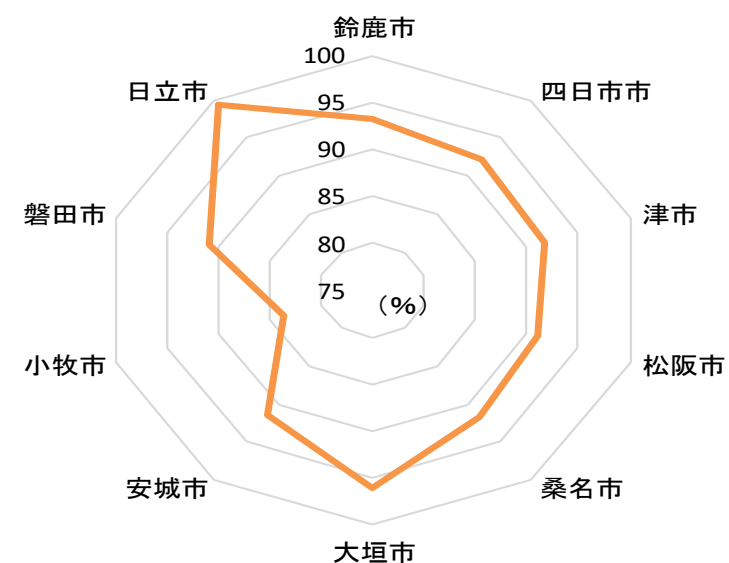


(2) 都市の快適性

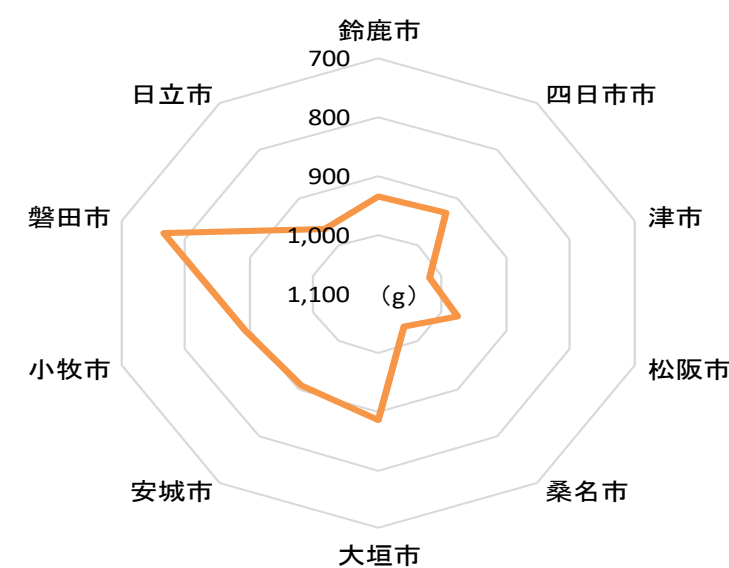
都市計画道路延長<改良済>
(人口1万人当たり)



汚水処理人口普及率
(人口1万人当たり)

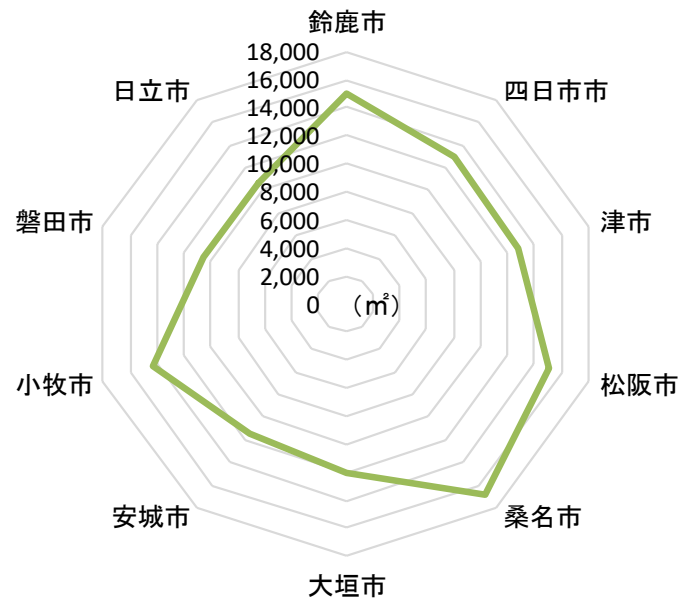


ごみ排出量
(1日・人口一人当たり)

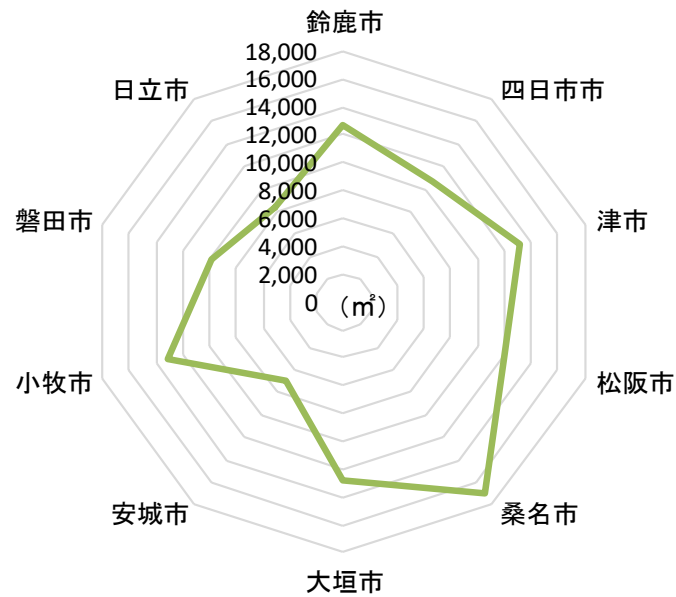


(3)都市の利便性

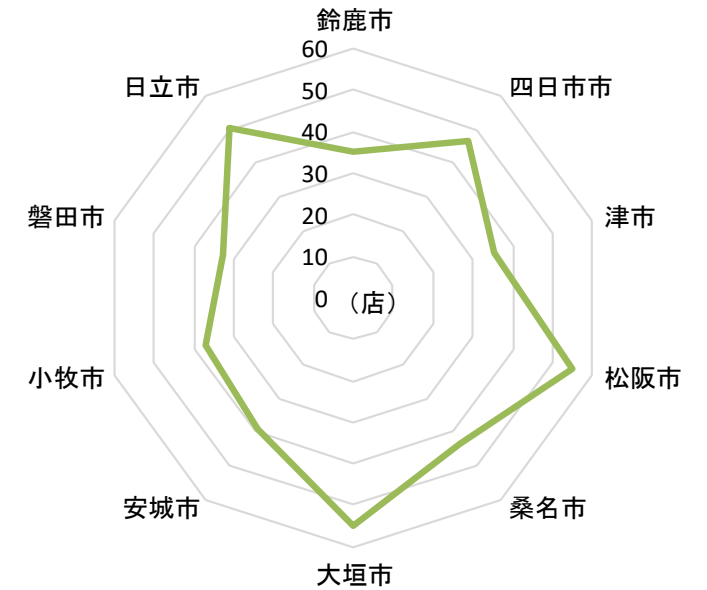
小売店売場面積
(人口1万人当たり)



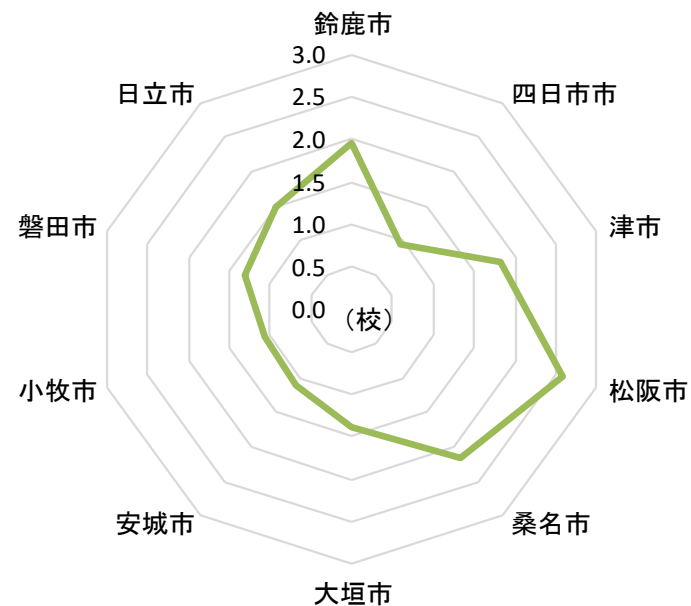
大規模小売店売場面積
(人口1万人当たり)



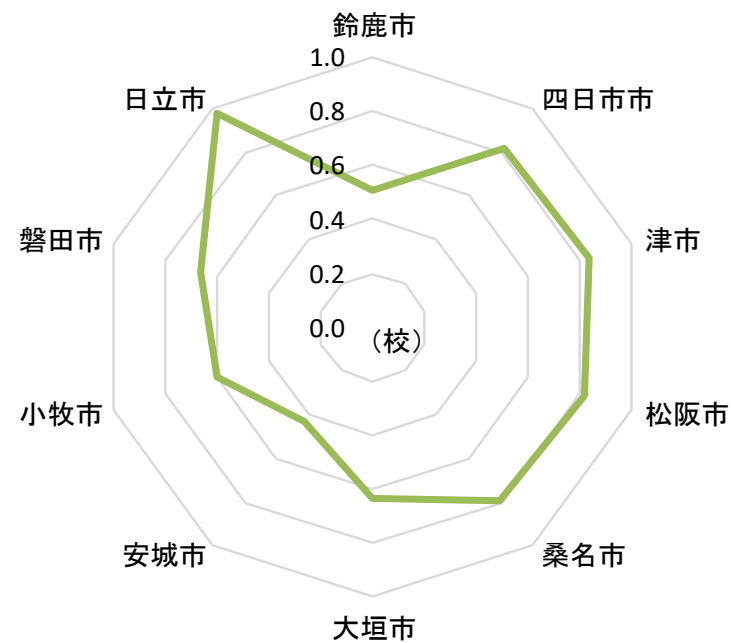
飲食店数
(人口1万人当たり)



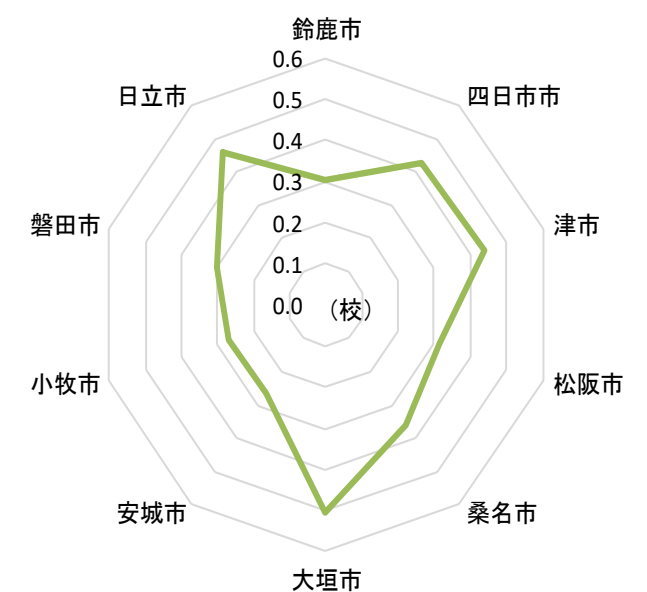
小学校数
(人口1万人当たり)



中学校数
(人口1万人当たり)

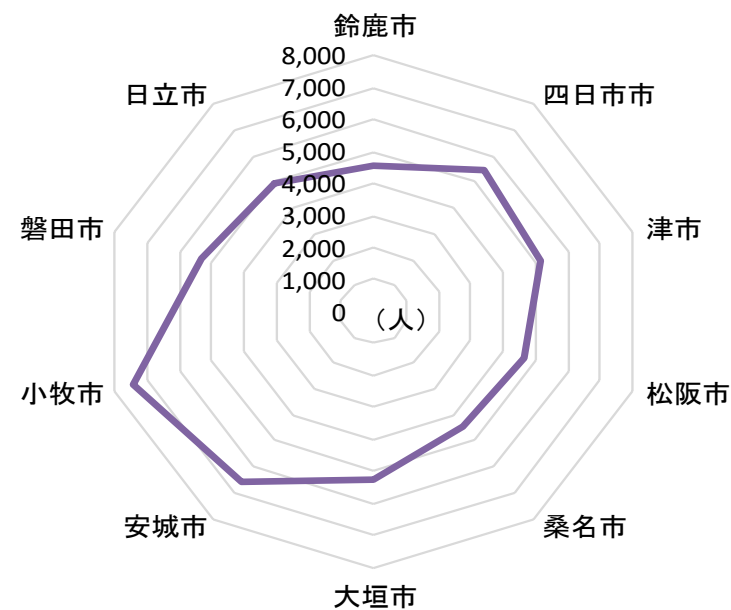


高校数
(人口1万人当たり)

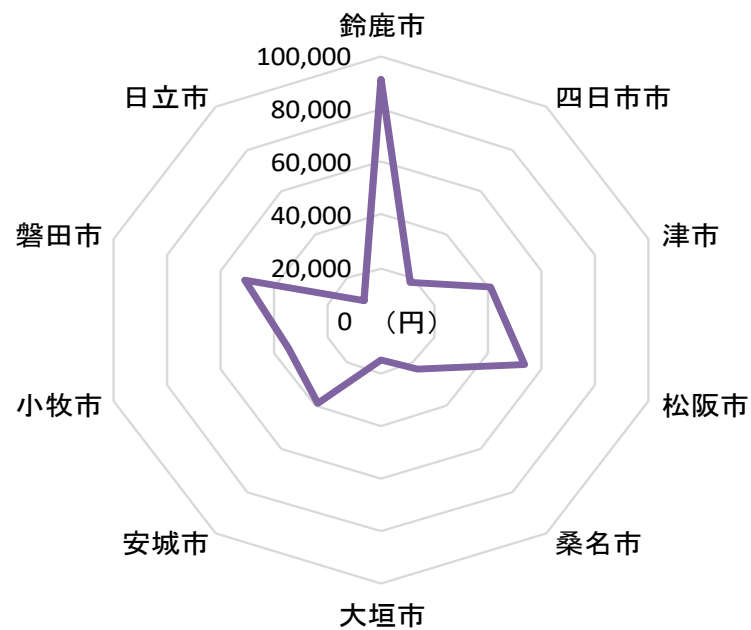


(4)都市の成長力

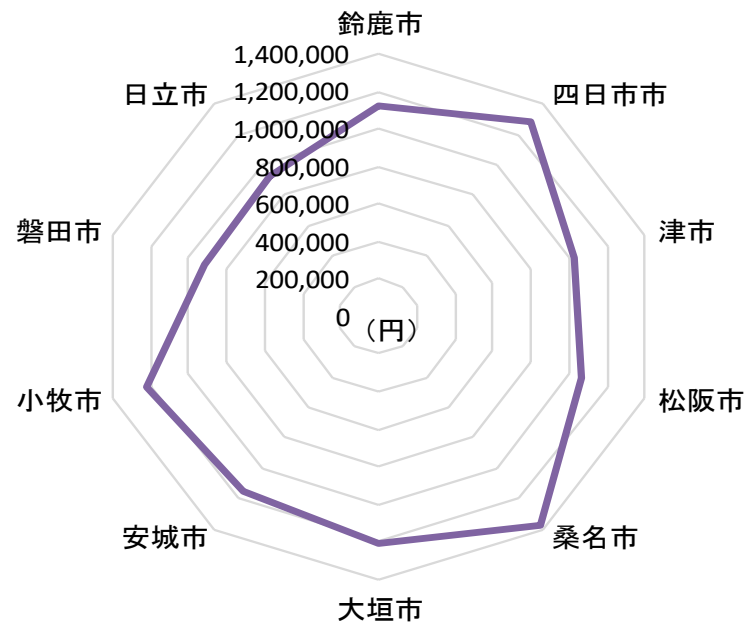
従業者数
 (人口1万人当たり)



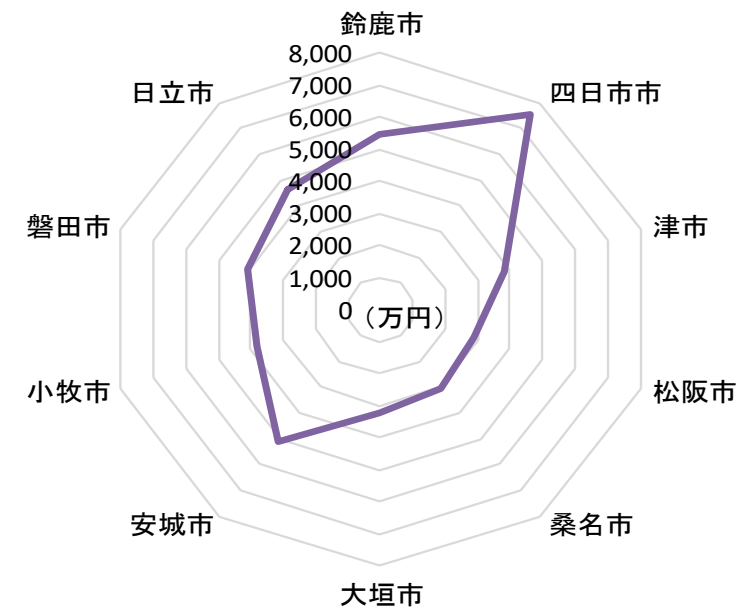
農業産出額
 (人口1人当たり)



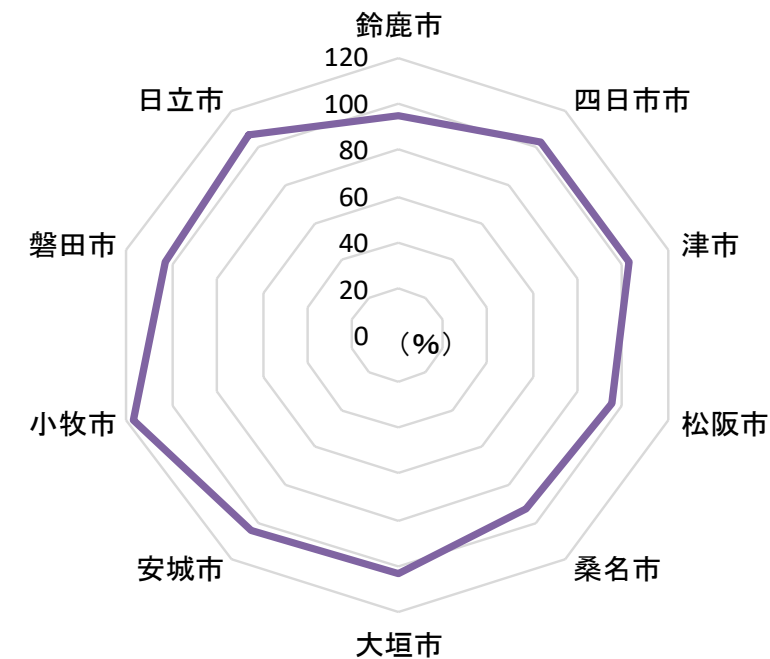
小売業年間販売額
 (人口1人当たり)



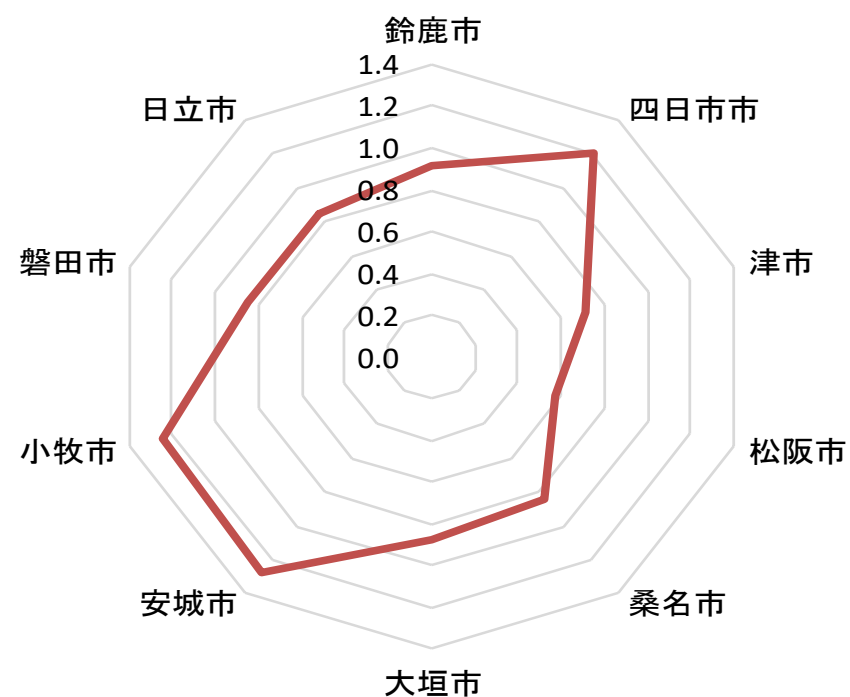
製造品出荷額等
 (従業者1人当たり)



昼夜間人口比率

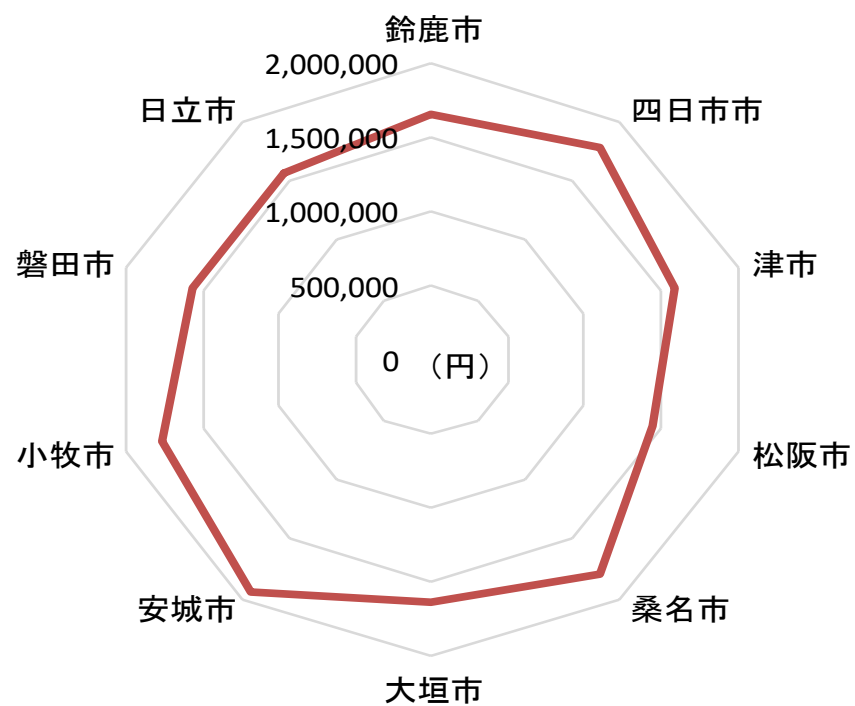


財政力指数

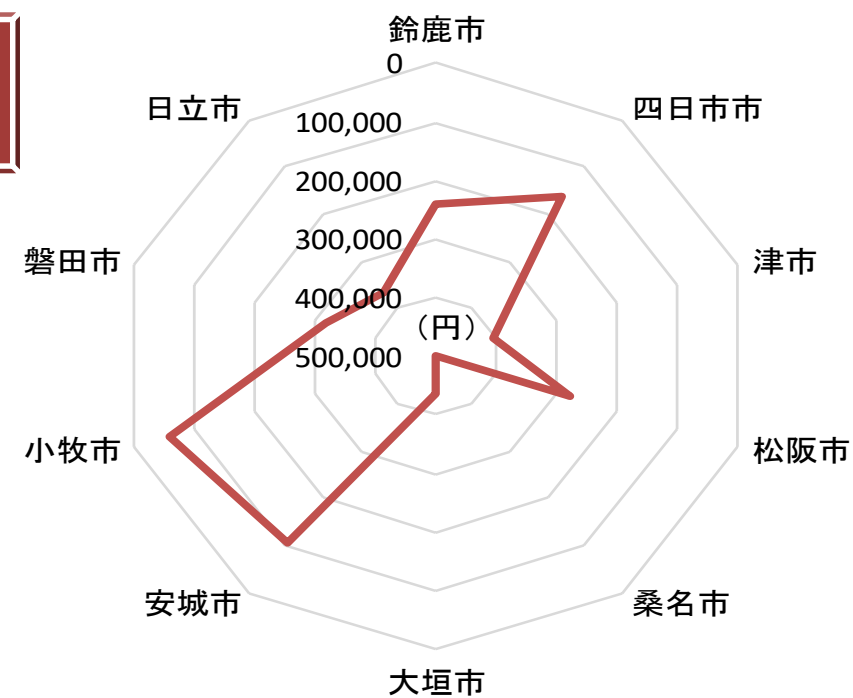


(5) 都市の富裕度

課税対象所得額
(人口一人当たり)



地方債残高
(人口一人当たり)



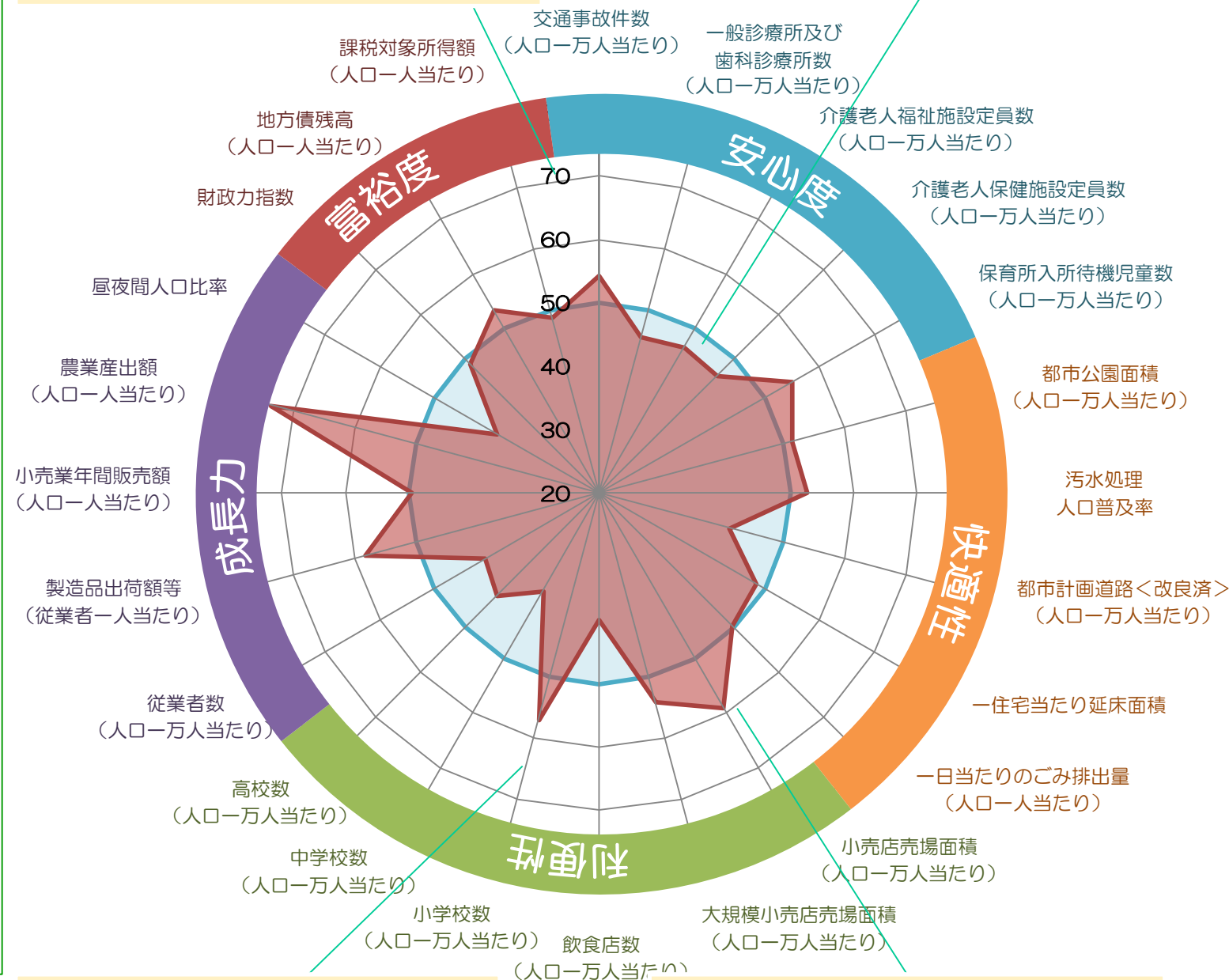
4. 比較結果

鈴鹿市の比較結果

- ✓ 鈴鹿市は全29項目の指標のうち10項目において、標準的水準(偏差値50)を上回っている。総じて、農業産出額を除いて突出して高い指標はないものの、平均を大幅に下回る指標も少ない、バランスの取れた都市力を有している。
- ✓ 分野別にみると、特に成長力の分野における農業産出額や製造品出荷額等、利便性分野における小売店売場面積、大規模小売店売場面積の数値が比較対象都市平均を大きく上回るなど産業や経済性の面で比較優位性を持っている。
- ✓ 一方、安心度の分野では比較対象都市平均を下回る項目が多く、利便性の分では小学校数が平均より多いものの、中学校数、高校数が平均を大きく下回っている。

鈴鹿市と対象都市との比較にあたっては、各項目を同一の基準で比較するため、各数値を「偏差値」に変換している。

青い円は比較対象全市
における標準的水準(＝
偏差値50)を示す。

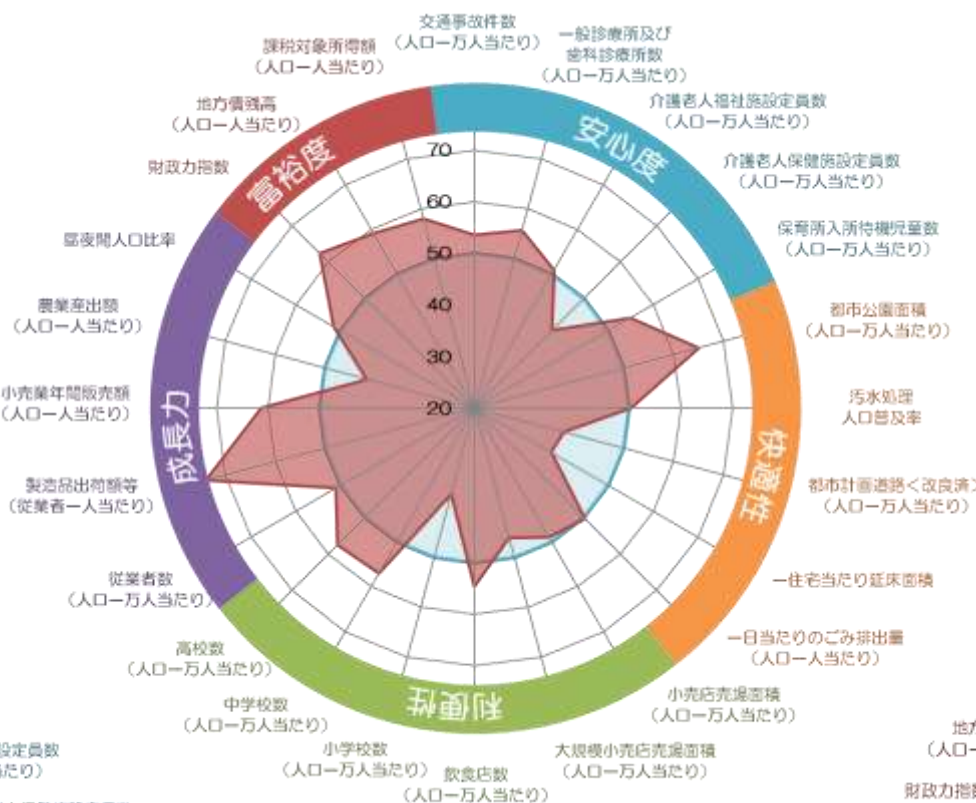


各軸は比較項目を表し、目盛数値が大きいほど優位にあることを示す。

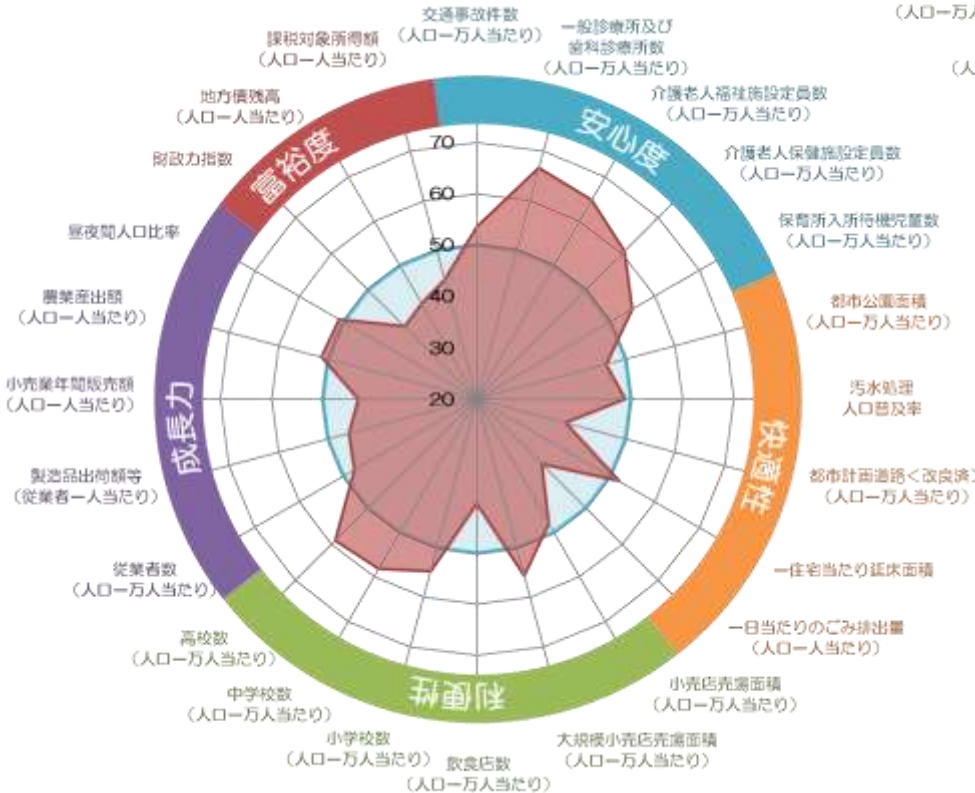
赤く囲まれた面積が大きいほど、都市としての能力が高いことを表す位にあることを示す。

5. (参考)比較対象都市の状況①

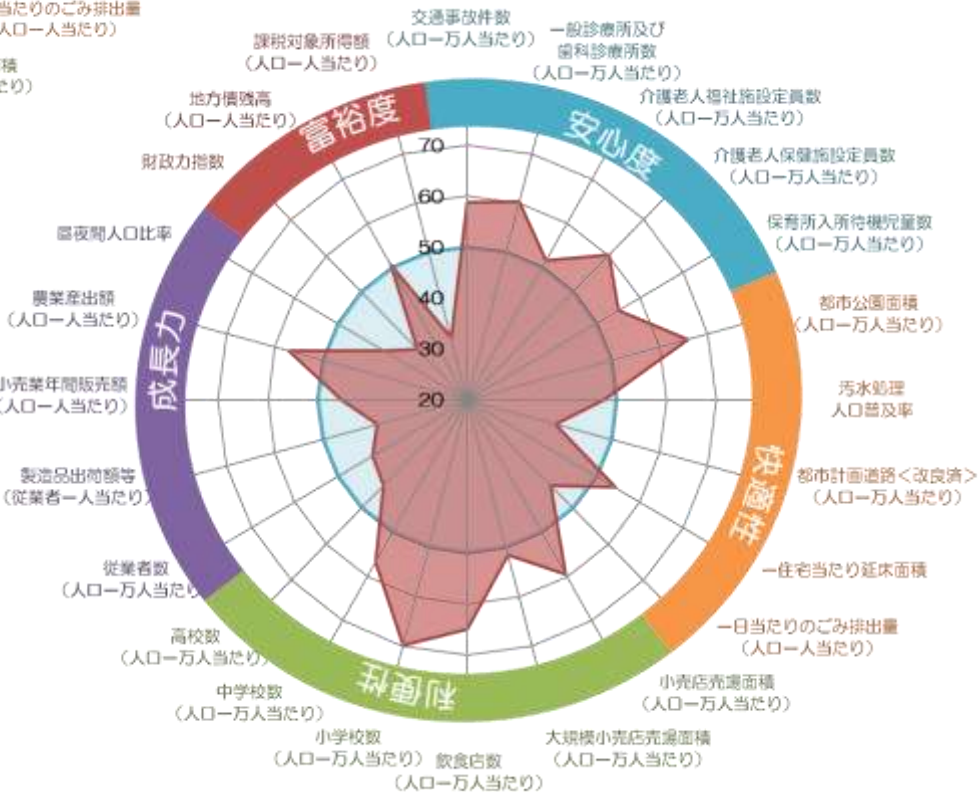
四日市市



津市

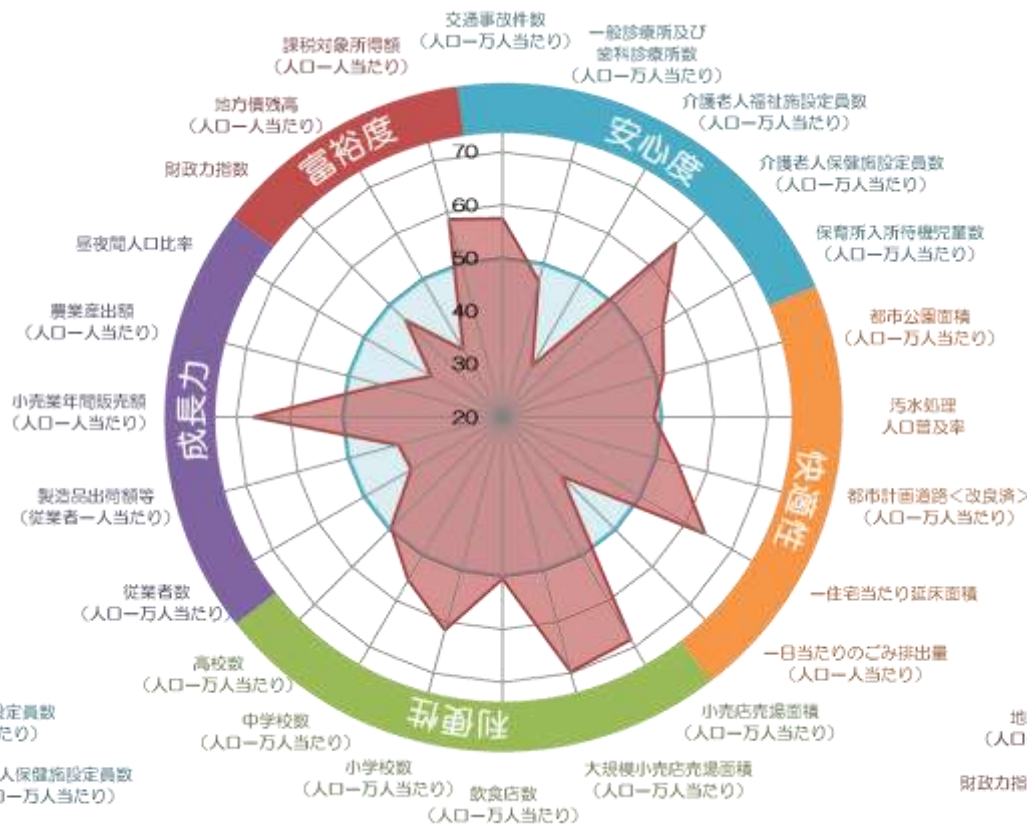


松阪市

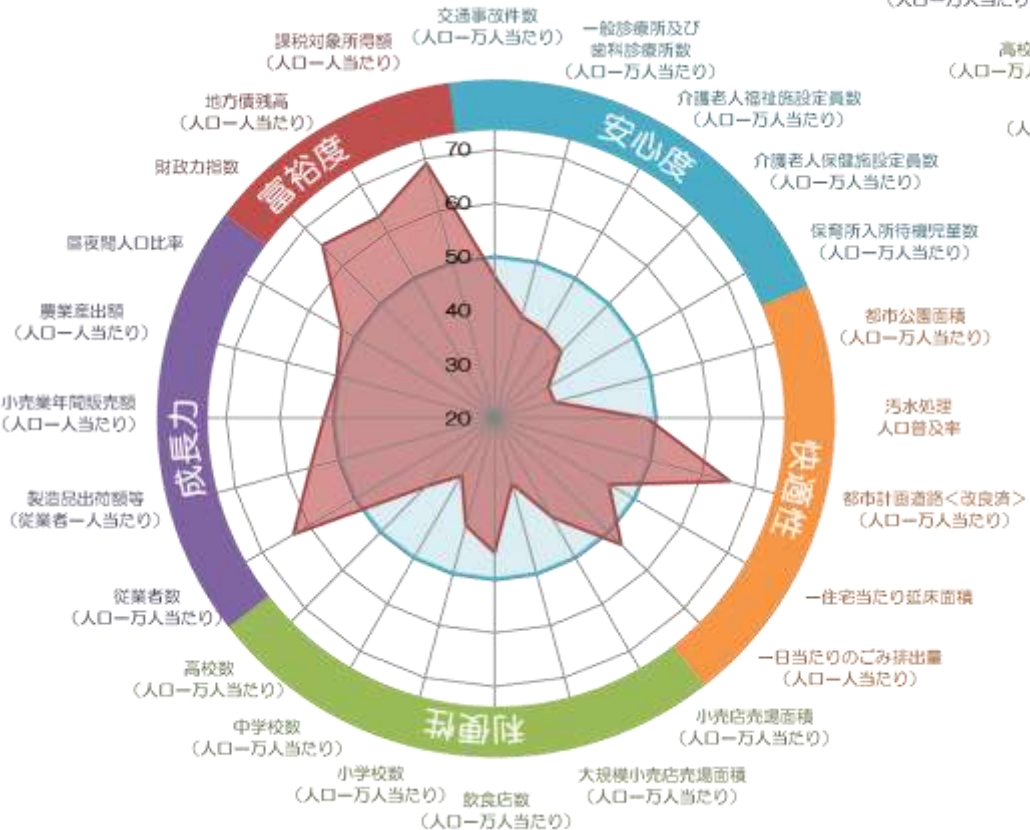


5. (参考)比較対象都市の状況②

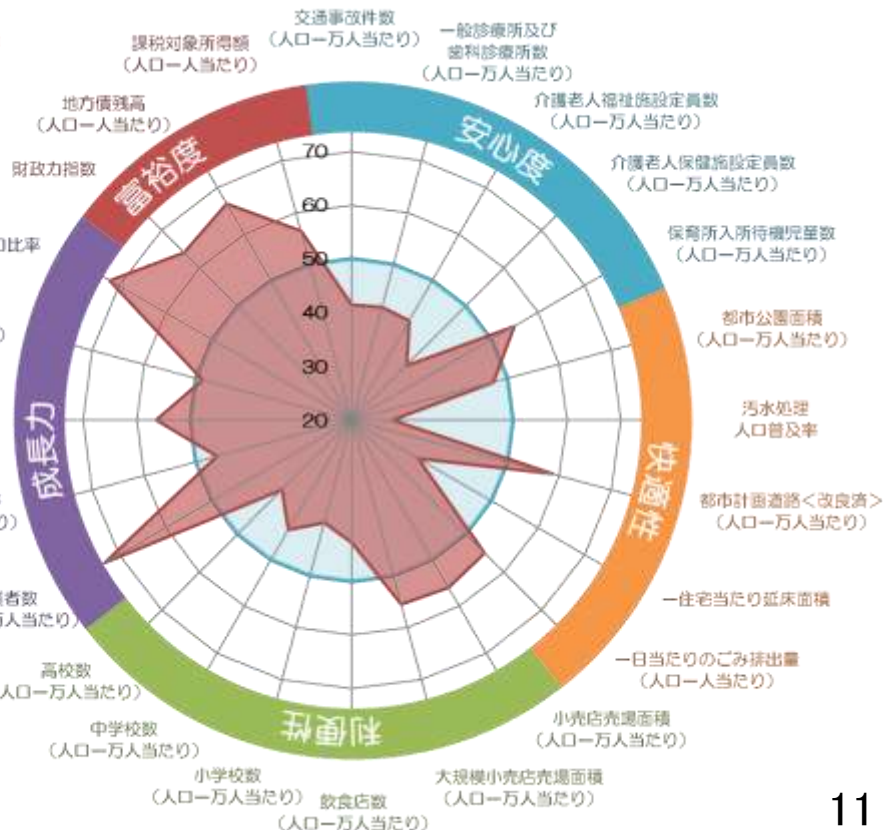
桑名市



安城市

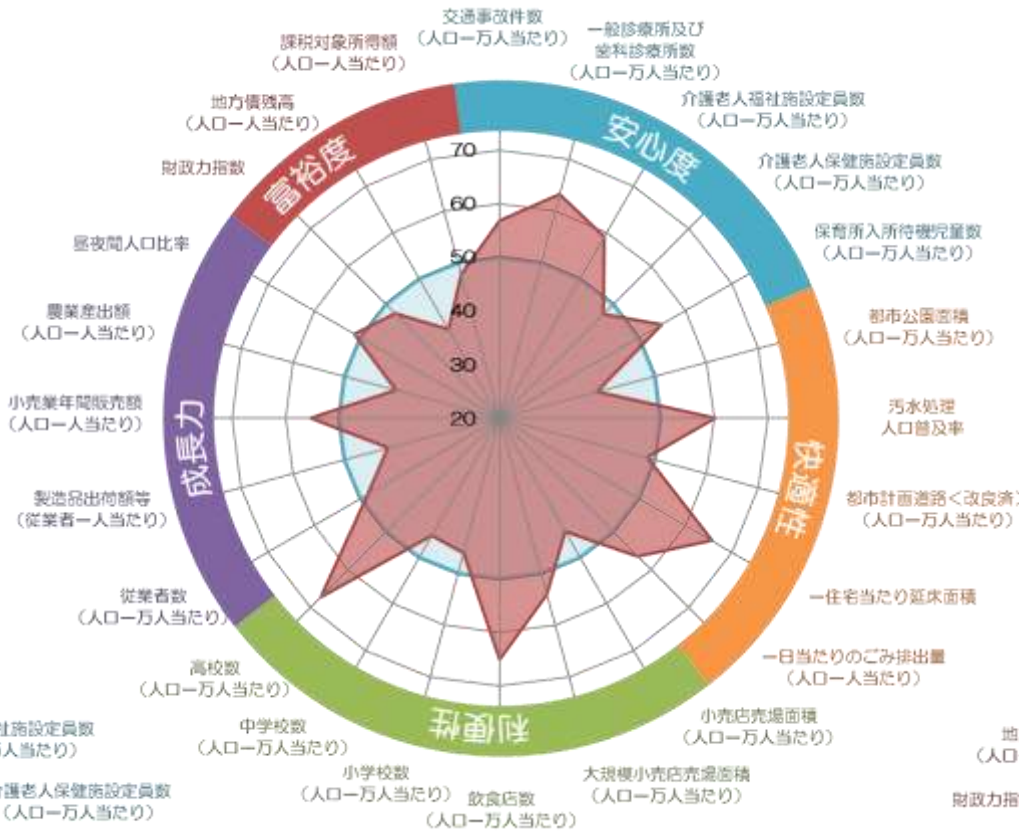


小牧市

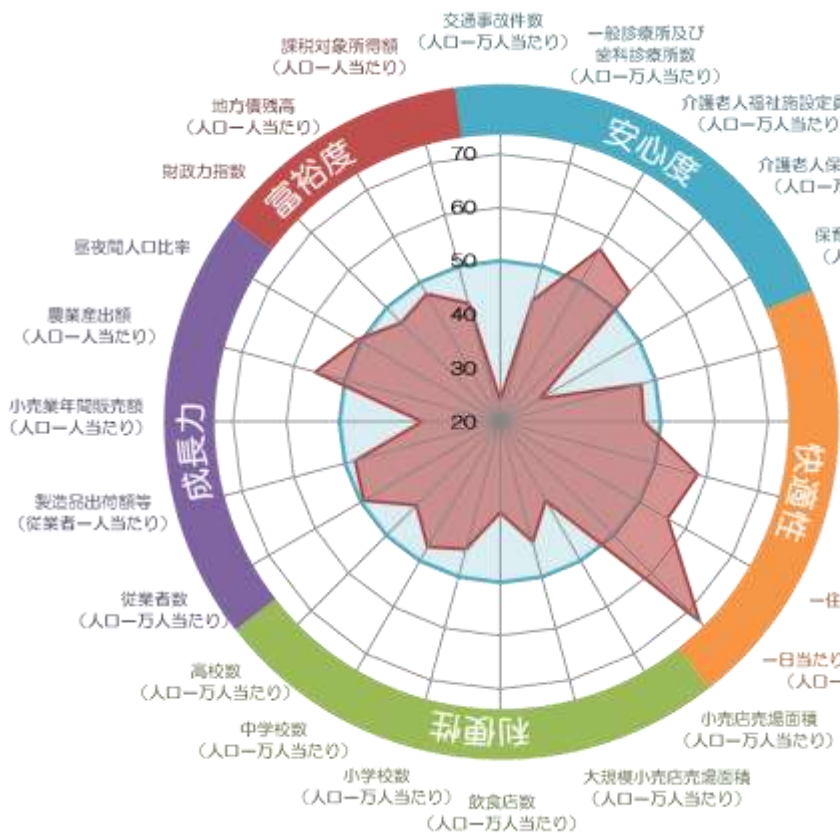


5. (参考)比較対象都市の状況③

大垣市



磐田市



日立市

